

HASHIMOTO
Heihachi,
A Retrospective

没後90年
橋本平八展

伊勢が育んだ
近代木彫のスター、
15年ぶりの回顧展！



2025
8/2_土10/13_{月祝}

開館時間 = 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 = 毎週月曜日(8月11日、9月15日、10月13日は開館)、
8月12日(火)、9月16日(火)

観覧料 = 一般 1,000(800)円、学生 800(600)円、高校生以下無料

◆()内は前売りおよび20名以上の団体割引料金 ◆この料金の、「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。◆生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。◆障害者手帳等(アブリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。◆県内学校(幼・小・中・高・特支)等が来館する場合、引率も観覧無料(要申請)。◆毎月第3日曜の「家庭の日」(8月17日、9月21日)は団体割引料金でご覧いただけます。

◆主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

主催 = 三重県立美術館

後援 = 伊勢市、伊勢市教育委員会

助成 = 芸術文化振興基金、公益財団法人岡田文化財団、
公益財団法人三重県立美術館協力会

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM 《花園に遊ぶ天女》1930年 東京藝術大学大学美術館蔵 《猫》1922年 三重県立美術館蔵

没後90年
橋本平八展

橋本平八(1897~1935)は、現在の伊勢市出身の彫刻家。伊勢で彫刻の手ほどきを受けた後、上京して佐藤朝山に木彫を学びました。25歳にして《猫》が日本美術院展に初入選を果たすと、その高い技術と才能によりたちまち注目を集めます。29歳で帰郷した後も、《石に就て》などの意欲作を次々に発表しました。その活躍は「木を持たしては橋本君」と評されるほどでしたが、惜しくも1935(昭和10)年に亡くなり、38年の生涯を閉じました。

生涯のほとんどを故郷の伊勢で過ごした橋本平八は、周囲の豊かな自然に刺激を受け、古代彫刻や古今東西の哲学に学びながら独自の思想を深めました。自然や生命の神秘について洞察を重ねた作品の数々は、今もなお多くの人を惹きつけています。

15年ぶりの回顧展となる本展では、代表作と資料から生涯をたどり、橋本平八の創作世界に迫ります。



《石に就て》1928年 個人蔵

自然の石をモデルにした木の彫刻?!



《牧童(村童騎牛)》1930年 個人蔵



《或日の少女》1934年
東京藝術大学大学美術館蔵



《善財童子》1931年 個人蔵



《アナンガランガのムギリ像》
1932年 個人蔵

会期中のイベント *手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

◆記念講演会「橋本平八について考える」

講師：毛利伊知郎(四日市市立博物館長、前三重県立美術館長)

日時：8月24日(日)午後2時~(90分程度)

会場：美術館講堂

定員：140名(当日先着順) / 聴講無料 *30分前より講堂にて開場、受付します。

◆クロストーク「橋本平八を語る」

木を素材として独自の境地を開いている彫刻家、七瀬綾乃氏を招き、橋本平八の魅力に迫ります。

講師：七瀬綾乃(彫刻家、金沢美術工芸大学講師) × 石崎尚(愛知県美術館学芸員)

日時：9月6日(土)午後1時~(60分程度)

会場：企画展示室

*展示室に入るため、橋本平八展観覧券が必要です。*参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください。

◆ワークショップ「彫刻のためのデッサン会~木に描いてみよう!~」

彫刻家のように、いろいろな角度からものの形を観察し、木材に描いてみます。

講師：長谷川寛示(彫刻家)

日時：8月16日(土) ①午前の部 午前10時~12時 ②午後の部 午後2時~午後4時

会場：美術体験室

対象：小学生、中学生

定員：各回15名(応募者多数の場合、抽選) / 参加無料

*参加には事前申し込みが必要です。美術館ウェブサイトより申込フォームにてお申込みください。8月7日(木)締切



《靈獣》制作年不詳 個人蔵

次回の企画展

「ポップ・アート 時代を変えた4人」2025年11月3日(月・祝)~12月28日(日)

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM



〒514-0007 三重県津市大谷町11 TEL:059-227-2100 FAX:059-223-0570
https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/ Follow us on X @mie_kenbi

【交通案内】津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場(約130台)もごさいますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。

